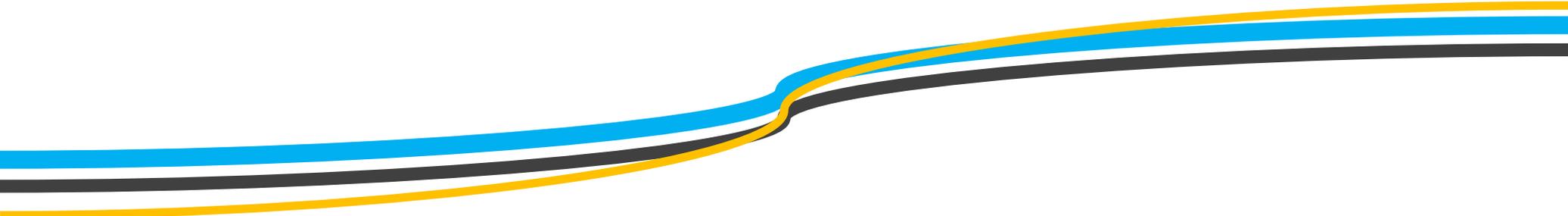


ChatGPTの検証結果と 今後の活用方針について



岩国市

検証

結果

岩国市ChatGPT検証チーム

- ・ 12部署12名
- ・ 事務局

検証期間

令和5年5月15日～6月16日

- ・ 電子会議室で事例共有（随時）
- ・ 対面ミーティング（4回）
- ・ チーム員へのアンケート（3回）

検証内容

文書作成やアイデア生成を中心に
73件の事例について検証を実施。
業務における**有用性の評価**を行った。



- ①文書作成やアイデア生成の用途では
作業時間の短縮や業務効率化など

非常に有用

- ②情報収集や専門知識を必要とする
用途（法律・判例など）では

正確性に課題

- ③適切な回答や質の向上には職員の

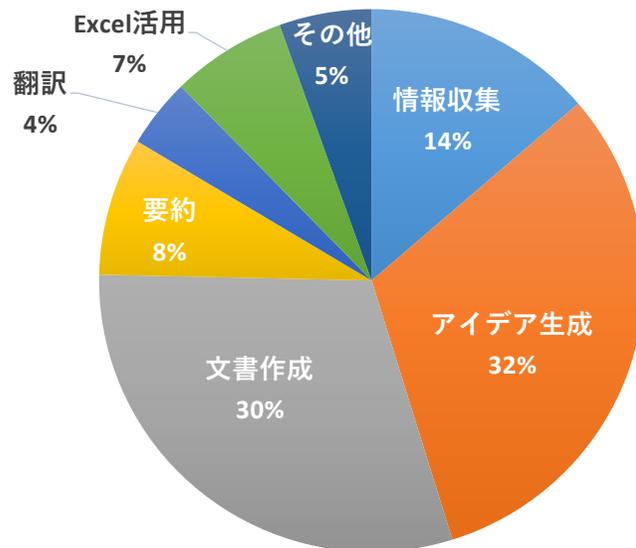
スキル向上が必要

検証結果 (集計)

検証事例実績

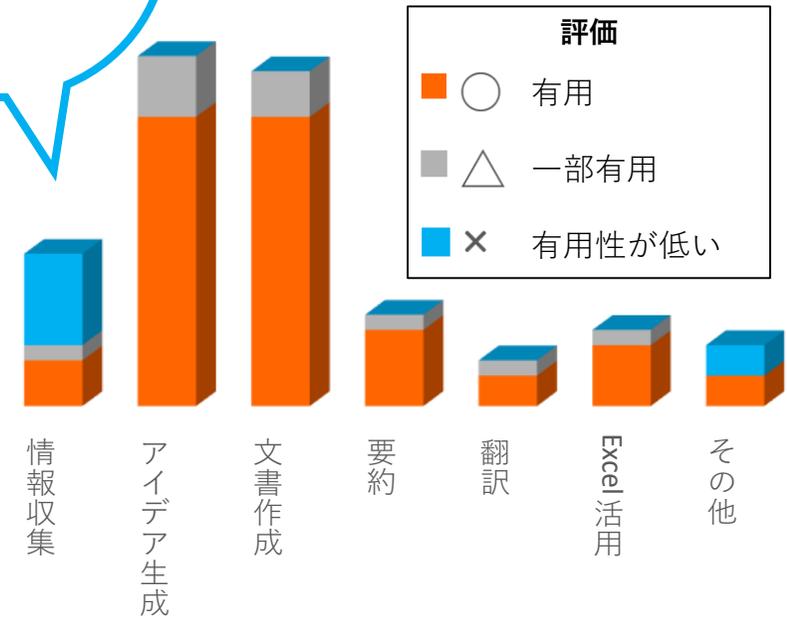
区分	件数	評価		
		○	△	×
情報収集	10	3	1	6
アイデア生成	23	19	4	0
文書作成	22	19	3	0
要約	6	5	1	0
翻訳	3	2	1	0
Excel活用	5	4	1	0
その他	4	2	0	2
計	73	54	11	8

検証用途



情報収集では、
有用性が
著しく低い
評価

検証事例に対する評価



(アイデア生成の例)

- ・住民説明会用のQ A作成
- ・事業施策の提案
- ・アンケートの設問案作成
- ・イベントの企画、スケジュール案作成 など

効果



業務の効率化

文書作成や要約の場面で大幅な時間短縮が可能。アイデア生成でも一から考える時間を短縮でき、業務全体として時間短縮の効果がある。

業務の質の向上

生成AIの特性上、大量のデータを学習しており、様々なデータをベースとした網羅的な回答を得られる。従来の単純な検索では得られなかった情報に触れることができる。

課題



情報流出のリスクや使用状況の管理

組織的な利用においては、情報流出リスクの排除や全体の使用について管理が必要である。

情報の正確性

回答が一部不正確な場合や古い場合がある。

職員の質問スキルの改善

質問内容により回答結果が大きく異なる。有効な活用をするためには職員のスキル向上のための取組が必要である。

生成 A I を本格利用します

なお、検証における課題に対応し、
最先端の A I 技術を積極的に活用していくため、次の対策を講じます

生成 A I の利用ガイドラインの策定

安全に利用できるシステムの導入

- ・ 入力された内容の保護
- ・ アカウントや利用状況を管理
- ・ 正確性の向上

職員のスキル向上の取組

- ・ 職員研修の実施
- ・ 活用事例の共有

生成 A I の利用ガイドライン

有用性の向上とリスク低減の観点から、職員向けのガイドラインを定めました。

岩国市生成 A I の利用ガイドライン（抜粋）

1.入力可能情報の制限

- ・個人情報、機密情報は入力しない。

2.利用申請及び利用目的の明確化

- ・利用目的を明確にし、事前に上司の承認を得て利用すること。

3.生成情報の根拠等の検証

- ・生成 A I が生成した情報が正しいものか、別の方法で内容の根拠等を確認すること。

4.対外的な利用における複数人による内容確認

- ・生成 A I が生成した情報を対外的な用途に用いる場合は、内容を複数人で確認すること。

5.著作権侵害リスクに留意

6.問題発生時の対応

7.所属長等による適正利用の指導・監督